

令和2年4月1日改正

# 加太地区福祉バス

運行日

年末年始 (12月30日~1月3日)、  
土曜日、日曜日、祝日を除く全日

料金

15歳以上 ※中学生を除く	200円/回
小学生・中学生・65歳以上 または乗合タクシー登録者	100円/回
小学生未満並びに 障がい者及びその介護者	無料

※障がい者の方は、障害者手帳等を乗務員にご提示ください。

## 加太越奈良道 (大和・伊賀街道)



加太越奈良道は、関宿西の追分で東海道から分岐し、加太峠を越えて伊賀・奈良に通じる街道です。西の追分にある題目塔には「いかやまと道」とあり、幕府の記録には「加太越奈良道」とあって、定まった呼び方はなかったようです。明治時代には「大和街道」とも呼ばれています。奈良から加太を越えて関に至る道は、大海人皇子が壬申の乱(672)の折に通ったことなどから、鈴鹿峠が開かれる以前の「東海道」とする説もあります。

江戸時代には、藤堂家が領した津と伊賀上野を結ぶ重要な道筋として、津藩領に含まれていました。街道の里程は、「三国地誌」(宝暦13年(1763))によると、関~加太間が1里23町(約6.4km)、加太~柘植が2里8町(約8.7km)です。

## 加太宿

加太宿は、加太越奈良道の宿場のひとつです。本陣は板屋に、問屋場・高札場は市場にあって離れており、加太宿の名はこれらの総称です。

## 関西鉄道と加太

「関西鉄道」は、東海道線とは別ルートで、名古屋と大阪・京都を結ぶ路線として計画され、加太地域を通る区間は明治23年12月に開通しました。加太地域を通る区間は、鈴鹿山脈を控えて急峻な地形で、加太川の谷間にそって隧道や橋梁が連続する難工事でした。鉄道敷設には、明治時代の最新技術が導入されており、建設当時のレンガや石造の隧道・橋梁群が、適切に保守されながら現在でも現役で活躍しています。



凡 例	
<span style="color: red;">—</span>	ルート
<span style="color: green;">●</span>	史跡など
<span style="color: yellow;">00</span>	バス停

バス停	
1	中在家車庫
2	中在家
3	北在家
4	東北在家
5	板屋
6	加太保育園
7	加太小学校
8	神武口
9	神武
10	梶ヶ坂口
11	梶ヶ坂中
12	市場
13	加太駅前
14	加太駅下
15	金場口
16	西新田
17	地藏院前
18	関支所前

史跡など	
A	鹿伏兎城址
B	鍛冶ヶ坂峠
C	川俣神社
D	錫杖ヶ岳
E	坊谷隧道
F	加太駅
G	板屋川橋梁
H	第165号架道橋
I	大和街道架道橋



# 加太地区福祉バスダイヤ表

1便	2便	4便	図の番号	停留所/方向	3便	5便	6便	7便	8便	9便
中在家車庫発	中在家車庫発	中在家車庫発			加太駅前発	関支所前発	加太駅前発	加太駅前発	加太駅前発	加太駅前発
加太駅前行き	加太駅前行き	関支所前行き			中在家車庫行き	中在家車庫行き	中在家車庫行き	中在家車庫行き	中在家車庫行き	中在家車庫行き
▼	▼	▼			▲	▲	▲	▲	▲	▲
6:59	8:15	8:56	①	中在家車庫	8:48	14:54	15:45	16:42	17:13	18:13
7:00	8:16	8:57	②	中在家	8:47	14:53	15:44	16:41	17:12	18:12
7:02	8:18	8:59	③	北在家	8:45	14:51	15:42	16:39	17:10	18:10
7:03	8:19	9:00	④	東北在家	8:44	14:50	15:41	16:38	17:09	18:09
7:04	8:20	9:01	⑤	板屋	8:43	14:49	15:40	16:37	17:08	18:08
7:05	8:21	9:02	⑥	加太保育園	8:42	14:48	15:39	16:36	17:07	18:07
7:05	8:21	9:02	⑦	加太小学校	8:42	14:48	15:39	16:36	17:07	18:07
7:06	8:22	9:03	⑧	神武口	〃	〃	〃	〃	〃	〃
7:09	〃	9:06	⑨	神武	〃	14:44	15:35	16:32	17:03	18:03
〃	〃	〃	⑩	神武口	8:41	14:41	15:32	16:29	17:00	18:00
7:13	8:23	9:10	⑪	梶ヶ坂口	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	⑫	梶ヶ坂中	8:39	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	⑬	梶ヶ坂口	8:38	14:40	15:31	16:28	16:59	17:59
7:14	8:24	9:11	⑭	市場	8:37	14:39	15:30	16:27	16:58	17:58
7:15	8:25	9:12	⑮	加太駅前	8:35	14:38	15:29	16:26	16:57	17:57
		9:14	⑯	加太駅前		14:36				
		9:18	⑰	金場口		14:32				
		9:20	⑱	西新田		14:30				
		9:24	⑲	地藏院前		14:26				
		9:25	⑳	関支所前		14:25				

※学校貸切運行（通学バス）ダイヤは記載しておりません。

## 加太地区の文化財など



かみなり山

### A 鹿伏兎城址【県指定史跡】

神福寺の裏山（標高263m）を城山と呼び、鹿伏兎氏の城がありました。山上には井戸、石垣、土塁などが残っています。また、城跡から尾根伝いに進むと33体の石仏が祀られた観音山に至ります。  
※城址は未整備です。見学される場合は各自安全に十分お気を付けてください。



### B 鍛冶ヶ坂峠

集落から西に通じる峠道は、周辺では唯一地道が残っており、往時の面影を残しています。



かわまたじんじや

### C 川俣神社【市指定史跡】【市指定天然記念物】

街道から鳥居をぬけ、谷を渡ったところに川俣神社があります。南北朝時代の川俣城跡とされ、市史跡に指定されています。また、ご神木を含む鎮守の森が市天然記念物に指定されています。



しゃくじょうがけ

### D 錫杖ヶ岳

龜山市と津市との境にある、標高676mの山です。頂が3つ並び特徴のある形から雀頭山とも呼ばれます。周辺から方角を知る目印になっています。



### 加太かんこ踊り【県指定無形民俗文化財】

加太地域の市場・向井・板屋・中在家・北在家の各集落では、飾りや燈籠を付けた笠をかぶり、体の前につけたかんこ（太鼓）を打ちながら、数人が一組となって踊る「かんこ踊り」が伝承されています。毎年8月のお盆の夜、各集落のお寺の境内で踊られています。

# わたしのダイヤ

お近くのバス停ダイヤを書き写してお使いください

鷹山駅周辺や名古屋方面、津方面、大阪・奈良方面へお出かけの際は、加太駅でJR関西本線への乗り換えが便利です。

## 鉄道との乗継

関・亀山(名古屋・津)方面	加太地区福祉バス					J R	
	便	始発	(バス停)	加太駅前着	加太駅前発	関駅着	亀山駅着
行き	1便	6:59	中在家車庫発	7:15	7:20	→	7:26
	2便	8:15	中在家車庫発	8:25	8:42	→	8:48
	4便	8:56	中在家車庫発	9:12	9:23	→	9:29
帰り	J R		加太地区福祉バス				
	亀山駅発	関駅発	加太駅前着	加太駅前発	(バス停)	終着	
	16:42	16:49	→	16:56	16:57	:	17:13
	17:43	17:50	→	17:56	17:57	:	18:13
柘植・加茂(大阪・奈良)方面	加太地区福祉バス					J R	
	便	始発	(バス停)	加太駅前着	加太駅前発	柘植駅着	加茂駅着
行き	1便	6:59	中在家車庫発	7:15	7:20	→	7:31
	4便	8:56	中在家車庫発	9:12	9:23	→	9:33
帰り	J R		加太地区福祉バス				
	加茂駅発	柘植駅発	加太駅前着	加太駅前発	(バス停)	終着	
	15:41	16:45	→	16:56	16:57	:	17:13
	16:18	17:12	→	17:23	17:57	:	18:13

※JRダイヤ（平日）は、令和4年8月1日現在のものです。

お近くのバス停ダイヤを書き写してお使いください

関支所で西部ルートに乗り継ぎます。

## 西部ルートとの乗継

関支所	加太地区福祉バス			西部ルート		
	便	中在家車庫発	(バス停)	関支所前着	便	関支所前発
行き	4便	8:56	:	9:25	3便	9:34
						総合保健福祉センター前着
帰り	西部ルート			加太地区福祉バス		
	便	総合保健福祉センター前発	関支所前着	便	関支所前発	(バス停)
	6便	12:10	12:41	5便	14:25	:
						中在家車庫着

※西部ルートダイヤは、令和4年8月1日現在のものです。

## 加太地区の鉄道遺産群



ほうだにずいどう

### E 坊谷隧道

加太地区に造られた3つの隧道の1つで、明治22年11月に着工し、1年後に完成。壁面はレンガであるが、壁柱・馬蹄形の拱門には笠石と帯石と多くの石を使用した構造物です。



### F 加太駅

関西鉄道開通から、約6年遅れた明治29年9月29日に営業開始。駅舎・プラットホームなどに当時の面影が残っています。



### G 板屋川橋梁

河原にそびえる十数mの橋脚は、下部は五角錐台、上部は帯石、更に算木積み製の隅石とレンガで構成された四角錐台で構成された見事な橋脚です。



### H 第165号架道橋

林道「板屋線」を跨ぎ、アーチ製のレンガ積、下部がイギリス積、上部がフランス積、雁木（鋸刃模様）、長手積といろいろなレンガ積みとなっています。



### I 大和街道架道橋

大和街道（旧国道25号）を跨ぐ、幅4.5m、長さ15.1m、アーチ最上部分の高さ約5mと立派な構造物です。特に迫石や要石、扁額、内部のスプリングライン下の布積等、どっしりとした石組みです。

線路内には絶対に立ち入りしないで下さい。